

「第二次循環型社会形成推進基本計画」（2008年3月）の取り組みの進捗度を測る指標の一つとして、循環型社会形成に向けた意識・行動の変化の実態を把握し、今後の施策の参考とするために実施されました。全国20歳以上の人を対象として、2010年11月にインターネットで調査。有効回答数1,000人。毎年度実施。

指標として設定されている調査項目・選択肢	2009年度	2010年度
<b>■ 3R全般に関する意識</b>		
<u>ごみ問題への関心</u>		
・ごみ問題に（非常に・ある程度）関心がある	82.1%	83.8%
<u>3Rの認知度</u>		
・3Rという言葉（優先順位まで・言葉の意味まで）知っている	40.6%	38.4%
<u>廃棄物の減量化や循環利用に対する意識</u>		
・ごみを少なくする配慮やリサイクルを（いつも・多少）心がけている	70.3%	71.7%
・ごみの問題は深刻だと思いつつも、多くのものを買って、多くのものを捨てている	10.0%	10.8%
<u>グリーン購入に対する意識</u>		
・環境にやさしい製品の購入を（いつも・できるだけ・たまに）心がけている	81.6%	84.3%
・環境にやさしい製品の購入をまったく心がけていない	14.6%	12.5%
<b>■ 3Rに関する主要な具体的行動例</b>		
<u>発生抑制（リデュース）</u>		
・レジ袋をもらわないようにしたり（買い物袋を持参する）、簡易包装を店に求めている	69.1%	72.7%
・詰め替え製品をよく使う	70.6%	74.7%
・使い捨て製品を買わない	23.1%	24.2%
・簡易包装に取り組んでいたり、使い捨て食器類（割り箸等）を使用していない店を選ぶ	13.5%	16.0%
・マイ箸を携帯している	10.2%	9.8%
・ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器や、使い捨て食器類を使わないようにしている	21.5%	23.0%
<u>再使用（リユース）</u>		
・インターネットオークションに出品したり、落札したりするようにしている	28.4%	28.3%
・中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットで売買するようにしている	21.0%	23.4%
・びん牛乳など再使用可能な容器を使った製品を買っている	11.7%	10.1%
<u>再生利用（リサイクル）</u>		
・家庭で出たごみはきちんと種類ごとに分別して、定められた場所に出している	84.7%	90.6%
・リサイクルしやすいように、資源ごみとして回収されるびんなどは洗っている	71.1%	72.8%
・トレイや牛乳パックなどの店頭回収に協力している	44.3%	47.5%
・携帯電話の店頭回収に協力している	20.4%	20.5%
・再生原料で作られたリサイクル製品を積極的に購入している	14.6%	12.9%